

KITAGIN NEWS RELEASE 2024

2024年3月29日

各位

株式会社 北日本銀行

きたぎん SDGs 経営サポートによる「SDGs 宣言」策定支援について ～サンコー食品株式会社～

株式会社北日本銀行（頭取 石塚恭路）は、取引先企業さまの SDGs への取り組みを評価分析し、SDGs 経営を支援する「きたぎん SDGs 経営サポート」を取り扱っております。この度、本サービスのうち Basic（基本版）を通じて、サンコー食品株式会社（代表取締役社長小濱健）が SDGs 宣言を策定されましたので、下記の通りお知らせいたします。

今後とも当行は、取引先企業さまの SDGs の取り組みを支援し、持続的な地域社会の実現に貢献してまいります。

記

1. 会社概要

会社名	サンコー食品株式会社
所在地	〒022-0002 岩手県大船渡市大船渡町字下船渡 104 番地
代表者	代表取締役社長 小濱 健
業種	水産加工業

2. 重点項目



3. きたぎん SDGs 経営サポートについて

取引先企業さまの SDGs（Sustainable Development Goals：持続可能な開発目標）への取り組みを促進するため、取引先企業さまの SDGs の取り組み状況を確認し、優先課題を決定した上で、目標設定を行うこと（Basic：基本版）、また、サプライチェーン分析による事業活動の流れと SDGs 貢献度を分析し、未来志向の目標設定（Progress：発展版）をお手伝い致します。

以上

[本件に関するお問い合わせ先]

営業統括部 事業コンサルティング室（担当：小瀬川） TEL：070-8688-4990

企業概要



サンコー食品 株式会社

代表取締役社長 小濱 健

(所在地：岩手県大船渡市)



当社について

当社は1980年創業以来、「魚食」を通じお客様の健康と豊かな食生活へ貢献するため、イカを中心とした水産物の安全・安心・安定した製造・加工を行って参りました。

近年、ライフスタイルの変化に伴い多様化・高度化する「食」の消費ニーズに対し、先端技術と丁寧な手作業を活かしたオーダーメイドの加工を行うことで、柔軟に対応しております。

当社では、「徹底した衛生管理」「技術追及」「消費者を見据えた商品開発」を事業の軸とし、地域に根差したものづくりの推進と新たな魚食文化の創出へと挑戦することで、食を通じて「笑顔」と「元気」をお客様へお届けして参ります。

現状のSDGsに対するマテリアリティ（重要課題）

大項目	マテリアリティ（重要課題）
環境の保全	エネルギー使用量の削減、水使用量削減や再生水利用、フードロスの削減
従業員の働きがい	休暇の取得奨励、子育てと仕事の両立支援
地域社会への貢献	寄付活動、地域とのコミュニケーション、地産・地消の推進
コンプライアンス・ガバナンス	コンプラ体制の構築、BCPの策定、業務効率化や生産性の向上

サンコー食品 株式会社 SDGs宣言書

当社は、国際連合で採択された持続可能な開発目標（SDGs）の達成に、以下のマテリアリティ（重要課題）への取り組みを通じて貢献します。



2024年3月29日
サンコー食品 株式会社
代表取締役社長 小濱 健

マテリアリティ（重要課題）

環境の保全

エネルギー資源に対する理解を深め、環境を意識したエネルギー利用の実現

▼目標・取り組み内容

- ・従業員と使用電力を共有し、節電意識を醸成する
- ・再生水の使用と地下・上水道を目的ごとに利用区別する
- ・製造管理徹底と端材の利活用によるフードロスの削減



従業員の働きがい

ひとり一人が価値や誇りを自覚し、働きやすい環境の構築

▼目標・取り組み内容

- ・有給休暇・育児休暇取得奨励
- ・フレックスタイム制勤務の導入



地域社会への貢献

地域と食・人材交流を積極的に行い、地域活性化に貢献する

▼目標・取り組み内容

- ・子ども食堂への食材寄付
- ・インターンシップや地元小学生の工場見学を積極的に受入
- ・地域学校給食を通じた地産・地消の推進



コンプライアンス・ガバナンス

労務管理・衛生管理に関するアップデートを追及する

▼目標・取り組み内容

- ・食品表示法等の勉強会・セミナーに参加し、コンプラ体制の強化を図る
- ・地元企業と連携したBCP策定
- ・労務管理見直しと業務シェアによる効率化推進



【企画・制作協力：株式会社日経リサーチ「SDGs経営推進プロジェクト」】